

令和8年度県立高等学校入学者選抜学力検査

英 語

■ねらいと出題の内容、今後の学習指導のために

1 聞き取り問題

【ねらいと出題の内容】

英語による対話や説明の内容を、正しく聞き取ることができるかをみる問題です。

【今後の学習指導のために】

英語を聞き取る力を伸ばすには、生徒が英語を聞いたり話したり、英語でやりとりする言語活動の時間を増やすことが大切です。また、教科書を音読する時間を設定し、英単語個々の発音が正しくできるように指導するとともに、語と語の連結による音の変化や、語や句、文における基本的な強勢、文におけるイントネーションなどを指導することが大切です。学力試験では「書く力」が必須になりますので、発音練習と一緒に「書く」ことも意識するとより定着しやすくなります。

2 基礎的・基本的な語、連語、文法事項等の知識を問う問題

【ねらいと出題の内容】

語句や慣用表現、文法事項及び文や文構造等を正しく理解しているかをみる問題です。

【今後の学習指導のために】

英語の語、連語、慣用表現、文法事項等を正しく理解させるためには、授業の中で目的や場面、状況等を明確にした言語活動を設定し、それらを繰り返し使用させる機会を増やしていくことが大切です。英語に繰り返し触れたり、使用したりする中で、徐々にこれらの定着が深まります。

3 表現力を問う問題

【ねらいと出題の内容】

目的や場面、状況を適切に把握した上で、伝えたい内容を正確な英語で書くことができるかをみる問題です。

【今後の学習指導のために】

英語で書かれた告知物などの情報を読み取る力を伸ばすためには、読み手として主体的に考え、判断しながら英文から必要な情報や概要、要点などをすばやく読み取る言語活動を設定することが重要です。また、伝えたい内容を正確な英語で書く力を伸ばすには、授業内で身近な出来事や体験、教科書で学習した内容等について、目的や場面、状況等に応じて英語で書く言語活動を設定することが大切です。その際、既習の文法事項や文構造を正しく用いて書くことや、伝えたいことについての情報を正確に捉え、内容を整理し、順序立てて相手に伝わりやすく書くように指導することが求められます。

4 会話形式の英文の内容理解を問う問題（自分の考えを書く問題を含む）

【ねらいと出題の内容】

会話文と資料の内容を読み取る力と、その内容に関連した問いに対する自分の考え等を英語で表現することができるかをみる問題です。

【今後の学習指導のために】

限られた時間の中で、まとまった語数の会話文と表やグラフなどの情報の両方を読み取る力を伸ばすためには、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら、英文から必要な情報や概要、要点などを読み取る言語活動を設定することが大切です。その際、登場人物ごとに主張の要点を整理したり、重要な情報とそうでない情報を判断したりしながら読み進める習慣をつけるよう指導することが求められます。

また、読んだ内容に関連した問いに対する自分の考えを英語で書く問題に対応するためには、授業で読んだり聞いたりしたことに関する発問等に対して、自分の考えや理由等を英語で書いたり話したりする言語活動に、日頃から取り組ませることが大切です。その場合、書く目的や場面、状況等を明確にすることが求められます。

5 スピーチ形式の英文の内容理解を問う問題

【ねらいと出題の内容】

スピーチ形式の長文を読んで、内容を適切に読み取る力と、理解したことを英語で表現する力をみる問題です。

【今後の学習指導のために】

限られた時間の中で、まとまった語数のスピーチ原稿等の内容を読み取る力を伸ばすためには、学習者のレベルに合ったまとまりのある文章を最初から最後まで通して読む機会を、できるだけたくさん設定することが大切です。授業では、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら、英文から必要な情報や概要、要点などを読み取る言語活動を設定することが求められます。また、理解したことを、目的や場面、状況等に応じて、既習表現を用いて英語で表現する活動へとつなげることも求められます。

■まとめ

教科書等で扱われる基礎的・基本的な知識を確実に習得させ、さらにそれらを活用して、情報や考えなどを英語で表現したり、伝え合ったりするコミュニケーション能力を育成するため、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを明確にした言語活動を設定し、日頃から英語で表現する機会を確保することが大切です。その際、言語活動における中間指導や振り返りにおいて、基礎となる言語面の支援や指導を反復して行うことで、基本的な知識の確実な定着を図ることも大切です。